

(6) 2年創作 生徒が主体的に学ぶ創作の指導展開例①

題材名 「動機を生かした旋律をつくろう」

教材 音のスケッチ (2・3年上 P48~49)

本題材で扱う学習指導要領の内容

A 表現 (3) 創作 ア言葉や音階などの特徴を生かし、表現を工夫して旋律をつくること。

イ表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくること。

[共通事項] 旋律、リズム、構成

本題材の目標

- (1) 反復、変化などの構成や全体のまとまりに関心をもち、それらを生かした音楽表現を工夫しながら音楽をつくる学習に主体的に取り組む。
- (2) 反復や変化などの効果を知覚・感受し、動機の反復や変化などの構成や全体のまとまりなどを工夫しながら、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。
- (3) イメージをもって動機を反復、変化させ、全体のまとまりを意識した短い旋律をつくる。

本題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
動機の反復、変化などの構成や全体のまとまりに関心をもち、それらを生かし音楽表現を工夫しながら旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。	反復や変化などの効果を知覚・感受し、動機の反復や変化などの構成や全体のまとまりなどを工夫しながら、どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。	イメージをもって動機を反復、変化させ全体のまとまりを意識した8小節の旋律をつくっている。

題材の指導計画 (3時間扱い)

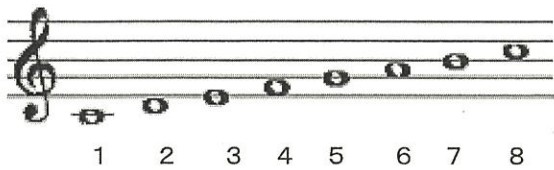
時	○主な学習内容 ・活動	○評価 ◆評価方法
1	<p>○動機をもとに構成を工夫して旋律ができることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その日の日付で動機を提示し、リコーダーで吹く。 ・動機を反復させ生まれる雰囲気を感じ取る。 ・変化のパターンを4つ提示しみんなでそれを反復させて吹いてみながらどんな雰囲気になるか交流しあう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>①半分パターン ③逆行パターン ②2倍パターン ④音高を変えるパターン</p> </div> <p>○動機を反復、変化させてつくられた音楽を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「バッハの名による幻想曲とフーガ」などの作品を聴き、動機が様々な反復、変化して旋律ができていることを理解する。 	<p>※楽器はリコーダー以外でもよい</p> <p>㊦ 動機の反復、変化に関心をもち、それらを生かし旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>◆観察</p>
2	<p>○前時の学習をもとに、1小節の動機をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生日、電話番号、現在時刻など動機の手がかりは何でもよい。 <p>○動機を反復させて4小節の「○○のテーマ」をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>○○先生のテーマ、夏休みのテーマ、怒りのテーマなど</p> </div> <p>○何度もリコーダーで演奏してみながら、その表したいイメージをふ</p>	<p>㊦ 知覚・感受しながら動機の反復や変化などの構成や全体のまとまりなどを工夫しどのように旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。</p>

	<p>くらしませ、動機を変化させる部分も加えてまとまりのある8小節の旋律をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・席の隣同士など、ペアで交流する。 	◆ワークシートの記述
3	<p>○お互いの作品を交流し、動機の反復、変化などの構成を工夫して様々な旋律がつくられることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いや意図をもって演奏する。 ・お互いの演奏を聴きあい交流する。 ・自分の表現を工夫した点をワークシートにまとめる。 	<p>④ イメージをもって動機を反復、変化させ全体のまとまりを意識した8小節の旋律をつくることができる。</p> <p>◆ワークシートの記述</p> <p>⑤ 動機の反復、変化などの構成や全体のまとまりを生かし音楽表現を工夫しながら旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>◆観察 ワークシートの記述</p>

本時の展開例 (2 / 3)

時	○主な学習内容 ・活動	○評価 ◆評価方法
第2時	<p>○「〇〇のテーマ」の動機をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習をもとに、1小節の動機をつくる。 ・誕生日、電話番号、現在時刻など動機の手がかりはなんでもよい。 ・即興的に音を出しながら、気に入った動機を書き留める。 <p>〇〇先生のテーマ、夏休みのテーマ、怒りのテーマなど</p> <p>○動機を反復させ、その雰囲気確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような音を使うと自分のイメージに近づくか、吹いて確かめながら動機を反復させてみる。 ・何人かの生徒に発表させる。 <p>【学習課題】 動機を反復、変化させて自分なりの「〇〇のテーマ」を音楽で表すには、どのように工夫したらよいだろう</p> <p>○何度もリコーダーで演奏してみながら、表現したいイメージをふくらしませ、動機を変化させるなどして、まとまりのある8小節の旋律をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現したいイメージをふくらしませながら、それに合うように動機を反復したり、変化させたりする。 ・席の隣同士など、ペアで交流し感想を述べあう。 <p>○何人かの作品を聴きながら、反復や変化などの構成や全体のまとまりなどについて知覚・感受し、自らの作品を再考する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体のまとまりを考えながら作品を見直し、演奏する。 ・どの音で曲を終わらせるか、試しながら決定する。 	<p>⑥ もったイメージと動機の反復変化のさせ方を関連させて、ワークシートに書き入れている。</p> <p>◆ワークシートの記述</p>

動機を生かして旋律をつくらう



動機の変化パターン
 A 長さ半分 C 逆行
 B 長さ2倍 D 音高変更

1. 自分がつくった動機を「反復」させて「〇〇のテーマ」をつくってみよう。

「なっとうのテーマ」
 なっとうのテーマだから、「なっとう」ということばにあった動機にしたい。

2	○	3	2	2	○	3	2	2	○	3	2	2	○	3	2
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

2. イメージスケッチ (テーマから思いついたことと音であらわしたいことをどんどん書いてみよう)

・なっとうだからねばる感じをだしたい
 ・まぜる時のぐるぐるかき混ぜる感じも入れたい
 ・できあがり!の時は盛り上げたい

→ Bを使ってみようかな
 → どう表したらいいかわからないので色々試してみる
 → 音を高くしてみる

2	○	3	2	2	○	3	2	2	-	-	-	3	-	2	-
なっとう				なっとう				ね～～				ば～～る			
2	○	3	2	23	23	23	23	56	56	56	56	7	○	9	8
なっとう				ねばねば				ぐるぐる				できた			

⑧ ワークシートの記述全般から、約束事に従って活動しているとよみとれば B、他のアドバイスを受けた際の見直しや記述のあとから、何度も試行し創作に取り組んでいる様子が見取れば A とする。

○…1拍休み ◆…半拍休み -…前の音をのばす

隣の人のコメント
 なっとうがテーマとは驚いたけどおもしろい。曲はちょっと単調な感じがする。終わり方が微妙…。

終わり方は自分も気になるので音を見直す。
 変化の違うパターンを試す。

3. 作品名「納豆のテーマ」完成!

2	○	3	2	2	○	3	2	2	-	-	-	3	-	2	-
2◆	32	2◆	32	23	23	56	56	23	23	56	56	2	○	3	2

4. 学習のまとめ (表しかかったイメージとそのためどのように反復と変化を使ったかまとめよう)

動機を何度も吹いているうちに「なっとう」が浮かんできた。そこから「ねばる」イメージは糸を長くひく感じなので変化の B を使おうと思った。隣の人と交流した時、つまらないと言われたので、もう一つ動機を変化させた部分を取り入れた。結果、なっとうが好きなので、早く食べたいという気持ちがうまく出せたかなと思う。終わりを高い音にしたかったけど、うまくいかなかった。そこは残念。

⑨ ワークシート 2、3、4 の記述から自分のイメージと動機の反復、変化のさせ方を関連させていると読み取ることができているれば B、その内容がより具体的であったり詳細であったりするものなどを A とする。